

## 土浦商工会議所経営発達支援計画の概要（令和2年4月～令和7年3月）

### 経営発達支援事業の目標と方針

#### ①経営革新や事業承継の取り組みにより、付加価値の高い事業や商品サービスづくり、ものづくりを実現する

「成り行き経営」からの脱却と、競争力の高い事業や商品サービスづくり、ものづくりを実現するため、専門家等と連携し、小規模事業者に寄り添いながら、実現可能性・実施効果の高い計画書づくりを支援する。計画の実現に必要な小規模事業者における顧客対応力の強化、技術の高度化、商品開発力の向上等のために、各種分析体制の強化、企業活性化のためのセミナーの開催や個別支援体制の整備、相談対応から計画策定・実施支援までの一貫支援体制を構築する。

また、上述した中小企業支援機関等の活用や連携を通して、職員の支援スキルの向上や販路開拓にあたる。

#### ②小規模事業者が持続的成長を図るうえでの武器づくりを支援するために、地域産業資源を活用した商品開発やブランドアップを実現する

当所が主体となって、既存の地域資源にとどまらず、今後活用が期待できる地域資源について整理し、組み合わせ等の提案を通して、新規事業や新商品、新たな情報発信コンテンツの創出を支援する。あわせて、土浦ブランドアップ推進プロジェクトの促進により、付加価値創出力の向上による関連小規模事業者の育成、発展を図る。

#### ③まちの賑わい創出及び、食のまちづくりを支援し、賑わいのある地域づくりを実現する

当所は、中心市街地商店街をはじめとする市内商業の活性化を図るため、地域振興イベントとして、市等と共同で「土浦市産業祭」「土浦桜まつり」「土浦キララまつり」「ウィンターフェスティバル」「土浦カレーフェスティバル」等のイベントを開催している。効果を一過性のものでしなないためにも、当所が中核となり、市民や商業者・関係団体の連携によるオリジナルカレーや名物創作料理などを活かした継続性のある取り組みや、サイクルツーリズムによる観光振興を通して、地域社会に貢献できるような魅力あるコミュニティづくりと継続的な賑わい創出につながるような事業を展開する。

#### ④商工会議所を中核とし地域一体となった小規模事業者支援体制を確立する

地域の小規模事業者に対して当所が中核となり、具体的には経営発達支援プロジェクトチームなどを組織するほか、行政及び地域金融機関等の支援機関が顔の見える連携を構築し、それぞれの役割を明確にすることで、個々の小規模事業者にマッチした質の高い支援体制を整備する。

**令和5年度土浦商工会議所  
経営発達支援計画事業報告書  
(令和5年4月1日～6年3月31日)**

**令和5年度 事業総括**

新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたものの、原材料の高騰と供給不足に加え、後継者難や人材不足、デジタル化の遅れなど懸念材料も多く中小企業の経営は難しい状況が続いている。

当所においては、これらの課題に対応するため、従来から取り組んでいる小規模支援法に基づく経営発達支援計画の取り組みに加え、国が促進する経営力再構築伴走支援（OJT）事業に参画し、指導員のスキルアップと企業の本質的課題を解決する伴走支援に取り組んだ。

新たな需要開拓支援では、全国規模で実施された feeINIPPON2024 商談会の出展支援を行ったほか、当所主催による物産展をイオンモール土浦において実施。また、新たな取り組みとして、カスミ BLANDE と共同でテストマーケティングを実施するなど、コロナ禍を経て事業形態が変化するなか、様々な出口支援の手法により BtoB および BtoC の販路開拓に寄与した。

令和5年度は、販売会やビジネスフェアに代わる事業を展開したことで、概ね事業は遂行し目標も達成できた。

計画最終年度となる6年度も引き続き実態に沿った事業展開および、当所の新たな経営発達支援計画を策定し小規模事業者の発展支援に努めてまいりたい。

**1. 地域の経済動向調査に関すること**

**【事業内容】**

- ①国が提供するビッグデータの活用
- ②日商 LOBO（早期景気観測）調査を活かした地域経済に関する情報提供の実施
- ③土浦市中心市街地活性化に資する状況調査の実施

**【目標】**

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①公表回数	1回	1回	1回	1回	1回
②公表回数	12回	12回	12回	12回	12回
③公表回数	1回	1回	1回	1回	1回

**【目標達成状況】**

いずれも達成

**【実施状況】**

日商 LOBO 調査を毎月実施し公開したほか、中心市街地活性化の指標である歩行者交通量や、居住者数、また創業支援につながる空き店舗活用情報等を周知した。

ビッグデータ活用については、リーサスを用い地域の経済動向分析結果をホームページで行ったほか、市場情報評価ナビ商圈レポート MieNa を活用し事業計画策定を支援した。

**2. 経営状況の分析に関すること**

**【事業内容】**

- ①経営分析の必要性や重要性の周知・啓蒙活動
- ②定量分析たる「財務分析」と、定性分析たる「内外環境分析」を行う。

**【目標】**

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
分析件数	130件	130件	130件	130件	130件

**【目標達成状況】**

いずれも達成

**【実施状況】**

小規模事業者経営改善資金融資や、各種補助金の活用を検討している事業者ほか、巡回・窓口相談を介した掘り起こしによって 135 件の経営分析を行った。

## 3. 事業計画策定支援に関すること

**【事業内容】**

- ①事業計画策定セミナーの開催
- ②事業計画の策定

**【目標】**

	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
事業計画策定件数	60 件	60 件	60 件	60 件	60 件

**【目標達成状況】**

いずれも達成

**【実施状況】**

オンラインにより事業計画の立て方、活かし方等を解説するセミナーを実施（24 社が参加）。これにより掘り起こしを行い、経営革新計画、持続化補助金等の申請を経営計画策定の契機とし 63 件の策定を支援した。

## 4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

**【事業内容】**

事業計画実施支援の量的・質的強化。計画の進捗状況に応じた量的・質的にも適切なフォローアップを実施する。

**【目標】**

	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
フォローアップ対象事業者数	60 社	60 社	60 社	60 社	60 社
頻度（延数）	300 回	300 回	300 回	300 回	300 回
売上増加事業者数	15 社	15 社	15 社	15 社	15 社
経常利益率 1%以上の増加事業者数	10 社	10 社	10 社	10 社	10 社

**【目標達成状況】**

いずれも達成

**【実施状況】**

事業計画を策定した 63 事業者について、フォローアップを延べ 318 回行った。フォローアップ時の聞き取りにより、売上増加事業者 31 社、経常利益増加事業者 30 社を確認した。

## 5. 需要動向調査に関すること

**【事業内容】**

- ①特産品を活用した新商品開発を支援するための消費者向け試食、アンケート調査の実施
- ②ビジネス商談会等を活用したバイヤー向け試食、アンケート調査の実施

**【目標】**

	R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
①調査対象事業者数	30 社	30 社	30 社	30 社	30 社
②調査対象事業者数	5 社	5 社	5 社	5 社	5 社

**【目標達成状況】**

いずれも代替事業を実施し達成。

- ①土浦カレーフェスティバルにて消費者アンケートを実施
- ②カスミ BLANDE シェアードセルフコーナーを代替事業として実施

**【実施状況】**

- ①土浦カレーフェスティバルにおいて出品メニューに対するアンケートを実施（32社 109件）。つちうらカレー物語事業者部会を通じて結果をフィードバックした。
- ②カスミ BLANDE（研究学園店、並木店）2店舗で11月の約1か月にわたりテストマーケティングを実施。  
10社32商品が出品。期間終了後、カスミバイヤー・企画担当、卸業者等から出品した商品の強み、改善点および、消費者の声等を取りまとめた報告を受けた。出品者と共有し販路開拓と商品力強化に寄与した。

## 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関する事

**【事業内容】**

- ①販路開拓支援セミナー・個別相談会（B to B）の開催
- ②消費者（B to C）への需要の開拓支援
- ③バイヤー等（B to B）への需要開拓支援

**【目標】**

	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
①販路開拓支援セミナー・個別相談会参加事業者数	20社	20社	20社	20社	20社
成約件数/者	1社	1社	2社	2社	2社
②土浦ブランド認定品販売会出展事業者数	2社	3社	3社	3社	3社
売上額/社	8万円	8万円	8万円	8万円	8万円
③しんきんビジネスフェア参加事業者数	5社	5社	5社	5社	5社
成約件数/社	2件	2件	3件	3件	3件

**【目標達成状況】**

個別相談会のみ未実施。

- ①「集客につながるSNS活用セミナー」を実施。個別相談会は未実施。
- ②土浦物産展 in イオンモール土浦 8店
- ③feelNIPPON2024春に1社出展

**【実施状況】**

- ①SNS活用セミナー（オンライン）で35社の参加あり。
- ②土浦物産展 in イオンモールを実施し8社、計990千円の売上げがあった。
- ③東京ビッグサイトで実施された feelNIPPON 春 2024 への出展支援（1社）を行った。

## 7. 地域経済の活性化に資する取り組みに関する事

**【事業内容】**

- ①空き店舗対策事業
- ②食のまちづくり推進事業
- ③土浦まちゼミ
- ④商工観光関係団体連絡会議

**【実施状況】**

- ①当所が申請等事務局を担う、土浦市開業支援事業補助金の活用により8件の中心市街地への開業を支援した。

- ②つちうらカレー物語事業者部会の事務局を担い、れんこん等を活用したメニューの勉強会を実施したほか、土浦カレーフェスティバルを土浦市と共催。メインイベント「土浦C-1グランプリ」を実施し、本市食のまちづくりの推進に寄与した。
- ③第8回まちゼミ（6～7月実施・参加店32店）、第9回（12～1月実施・参加店27店）の事務局として運営を支援した。多くの店舗で新規顧客を獲得したほか、参加店間の交流促進に寄与した。
- ④土浦警察署、土浦市、観光協会、商店街連合会および、当所による観光事業連絡会議を実施したほか、土浦市議会産業建設委員会との情報交換会を実施し、観光事業等の円滑な運営を図った。

#### 評価委員コメント

- ①新たな需要開拓の取り組みにおいて、テストマーケティングを新たに実施するなど代替事業により目標達成に向け取り組んだ点は大いに評価できます。  
フォローアップ件数についても適正数実施されており一過性ではなく伴走型の支援が定着しつつあるように感じています。  
コロナ禍は終わりましたが、物価高騰、後継者難など、地域の小規模事業者を取り巻く環境は難しい状況が続きますので、迅速かつ柔軟な対応により企業の持続的発展に寄与していただきたい。
- ②コロナ禍以前のように催事等が実施される中、新たな出口支援により販路開拓に取り組み、売上増にもつながっていたこと、またフォローアップも適正数実施されていることも良かったと思います。  
計画最終年度においても所期の目的を達成し、新たな計画をもって引き続き地域の小規模事業者の事業継続、持続的な発展に寄与されることを期待いたします。
- ③目標とそれに対する実施事業に若干の齟齬が出てきている場合は、次期計画策定時において実情に即した見直しなどを検討いただけると良いと思います。